

技研修等を行い、指導者としての資質の向上を図る。

② 期日・対象・参加者数

- 第1回・平成6年4月14日(木)～15日(金) 1泊2日
 - ・6月～7月に利用する小・中・養護学校等の教職員 58名参加
- 第2回・平成6年6月14日(火)～15日(水) 1泊2日
 - ・8月～12月に利用する小・中・養護学校等の教職員 30名参加
- 第3回・平成6年11月24日(木)～25日(金) 1泊2日
 - ・平成7年1月～3月に利用する小・中・養護学校等の教職員 50名参加
- 第4回・平成7年2月24日(金)～25日(土) 1泊2日
 - ・平成7年4月～5月に利用する小・中・養護学校等の教職員 20名参加

③ 研修内容

- 施設設備の実態と活動エリアの状況把握
- 利用校の児童生徒の実態に応じた活動計画の作成と調整
- 引率指導者と所員の役割分担とその内容の明確化
- 野外活動や集団宿泊に関する実技研修
- 研究協議及び交歓会

(2) 社会教育団体事前研修会

① 目的

社会教育関係団体（少年団体等）が行う集団宿泊生活や野外活動等の充実を図るため、プログラミングや実技研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。

② 期日・対象・参加者数

- 平成6年5月28日(土)～29日(日) 1泊2日
- 当所を利用する予定の社会教育団体等の指導者及び担当者 33名参加

③ 研修内容

- 施設設備の実態と活動エリアの状況把握
- 野外活動に関する指導法と実技研修（野外炊飯・ナイトハイキング等）
- 施設設備の利用の仕方と活動プログラムの作り方
- 研究協議及び交歓会

(3) 野外活動実技指導者研修会

① 目的

青少年教育に携わる指導者に野外活動の技術や指導力の向上を図るため、実技に関する基礎的知識や技術及び指導法について研修し、その資質の向上を図る。

② 期日・対象・参加者数

- 平成6年7月28日(木)～31日(日) 3泊4日
- 学校教育関係者、社会教育関係者並びに高校生、大学生 8名参加

③ 研修内容

- 理論
 - ・野外活動の意義と目的
 - ・青少年団体指導者の心得
 - ・キャンプの計画と運営
 - ・野外における安全と救急法
- 実技
 - ・テント生活の実際・野外炊事
 - ・オリエンテーリングの指導と実際

- ・自然保護と自然観察法
- ・ロープワークとその応用
- ・キャンプファイヤー

2 自然に親しむ親子のつどい

(1) 親子キャンプのつどい

① 目的

親子によるキャンプ生活や野外活動を通して、自然に親しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流を図り、相互の親睦を深める。

② 期日・対象・参加者数

- 平成6年7月10日(土)～11日(日) 1泊2日
- 小・中学生とその親、または親子グループ 63名参加

③ 内容

- テント泊で親子のふれあい
- 親子でつくる野外炊飯
- 暗闇と静寂の中のナイトハイキング
- 山野を歩いてのアドベンチャーゲーム

(2) 親子白銀のつどい

① 目的

親子でスキーを親しむことを通して、冬の自然にふれ、親子のふれあいを深めるとともに、他家族との交流を図り、親睦を深める。

② 期日・対象・参加者数

- 平成7年1月21日(土)～22日(日) 1泊2日
- 小・中学生とその親、または親子グループ 64名参加

③ 内容

- 初歩的なスキー実技
- そり遊び
- もちつき
- レクリエーション・交歓会

3 自然に親しむ少年・少女のつどい

(1) 自然に親しむ少年のつどい

① 目的

自然の中での生活体験を通して、子どもたちの心身を鍛え、自主性・創造性等を發揮させ、自分を律し、自然と調和して生活していこうとする心情を育てる。

② 期日・対象・参加者数

- 平成6年8月4日(木)～7日(日) 3泊4日
- 小学校5年生以上中学生まで 63名参加

③ 内容

- サバイバルウォーク
- 住みかづくり・テント設営と野営
- 魚つかみ・川遊び
- キャンプファイヤー
- 交歓会

(2) 少年スキー教室

① 目的

雪国会津の白銀の中で、スキーの基礎技能を高めると